

「平成27年度中山間地の防災を考える シンポジウム～知っておきましょう！ ふるさとの宝 アカタン砂防～」 開催される

平成27年10月24日（土）、福井県南越前町「リトリートたくら」において（一社）全国治水砂防協会並びに同福井県支部主催による「平成27年度中山間地の防災を考えるシンポジウム」を以下の通り開催いたしました。

本シンポジウムは、平成20年から開始し今回で10回目の開催となります。これまで、中山間地を取り巻く課題と地域の防災について、開催地における社会的条件のもと議論し、その議論と結論をこれからの安全確保のため活用してもらい、また他地域にも活用してもらえよう考え開催してきました。

そして今回はテーマを「知っておきましょう！

ふるさとの宝 アカタン砂防」として、開催しました。

「アカタン砂防」は、明治28年に福井県南越前町（旧今庄町）田倉で発生した土石流災害の復旧のために、技術者と絵出の地域住民が汗を流し建造された2基の土堰堤と7基の石積堰堤からなる堰堤群です。完成後100年以上たった今も自然に調和しつつ流域を土砂災害から守っており、平成16年7月には、国の登録有形文化財に指定されました。堰堤周辺には散策路やベンチなども整備され、地域の宝として地域の集落の方々から大切に守られています。しかしながら、過疎と高齢化の急激な進行とともに、その宝を次世代につなぐことに苦悩している状況になっており、このシンポ



福井県支部長・牧野百男鯖江市長



南越前町長代理・岩倉光弘副町長

ジウムでは、その現状を理解するとともに、少しでもとり得る対応策について考えることとしました。なお、全国にはアカタン砂防のような国指定の登録有形文化財が約200カ所存在しており、各地域でさまざまな形で地域活性化に活用されています。

当日は南越前町の地元住民をはじめ、北信越地区の参加者、防災担当者等70名以上の方々にご参加いただきました。

最初に岐阜大学・木村正信名誉教授から「アカタン砂防～その機能と歴史的価値～」と題し、次の論点で基調講演を頂きました。

○土砂災害の基礎知識

土砂の流出特性と土砂災害、深層崩壊と表層崩壊の違い

○砂防施設の基礎知識

堰堤の働き、堰堤の役割の変遷



基調講演：木村正信岐阜大名誉教授



○養老砂防の歴史とアカタン砂防

養老山地からの大量の流出土砂で揖斐川の川底が浅くなり、明治中期まで舟運に影響、すでに江戸時代（18世紀半ば）に谷の付け替え、明治11年（1878）に盤若谷で砂防事業を開始、明治32年にアカタン砂防着手→北陸線（開通）の保全も？

養老砂防は平成9年と10年に登録有形文化財に指定、アカタン砂防は平成16年に登録

○伝統的砂防施設の活用と維持管理

長年周辺自然環境の一部となりつつ、今日まで防災的な機能が発揮されている

○課題

・現在では珍しくなった明治時代の技術や技能が用いられ、再現が容易でない、維持管理費等の負担、周辺集落の高齢化・過疎化

この基調講演を元に、木村正信名誉教授をコーディネーターとし、地元関係者、行政関係者らからなるパネリスト（4名）とコメンテーターによるパネルディスカッションが行われました。

冒頭に、パネラーの伊藤喜右衛門氏（田倉川と暮らしの会会長）から、アカタン砂防の維持・保存活動の現状と高齢化による後継者不足等の課題提起がなされました。その後、3名のパネラーから「アカタン砂防」を活用した地域活性化への取り組みや課題解決に向けた今後の活動のあり方等について活発な議論がなされ、コメンテーターからは維持管理に関する意見が出されるなど幅広い



パネルディスカッション

議論が行われました。

また、会場の参加者からは「このように100年以上も地域を守り続けてきた砂防施設は地域の誇りでもあるので、多くの人に知ってほしい」「そのためには周辺の他地区の歴史的な施設との連携も有効と思われる」等の意見も出て、熱気あふれるシンポジウムとなりました。

本シンポジウムの準備・開催にあたり南越前町及び福井県砂防災害課の皆様をはじめ、ご協力いただきました多くの方々に厚く御礼申し上げます。

◇プログラム（敬称略）

1. 開会挨拶

牧野百男（全国治水砂防協会 理事長・鯖江市長）
川野順万（南越前町長 ※代理・岩倉光弘副町長）

2. 基調講演

「アカタン砂防～その機能と歴史的価値～」
木村正信（岐阜大学名誉教授）

3. パネルディスカッション

【テーマ】「知っておきましょう！ふるさとの宝

アカタン砂防」

【コーディネーター】

木村正信（岐阜大学名誉教授）

【パネリスト】

伊藤喜右エ門（田倉川と暮らしの会会長）

江本見美（福井工業高等専門学校環境都市工学科
講師）

山岸達也（南越前町地域おこし協力隊）

田中謙次（アカタン砂防エコミュージアム・コー
ディネーター）

【コメンテーター】

勝木勘充（福井県砂防防災課長）

4. 閉会挨拶

南 哲行（一社）全国治水砂防協会常務理事

【主催】（一社）全国治水砂防協会、同福井県支
部

【共催】南越前町、福井県

【後援】全国治水砂防協会新潟県支部、全国治水
砂防協会長野県支部、全国治水砂防協会
富山県支部、全国治水砂防協会石川県支
部、福井県砂防ボランティア協会



会場風景